

1

けんかのわけ

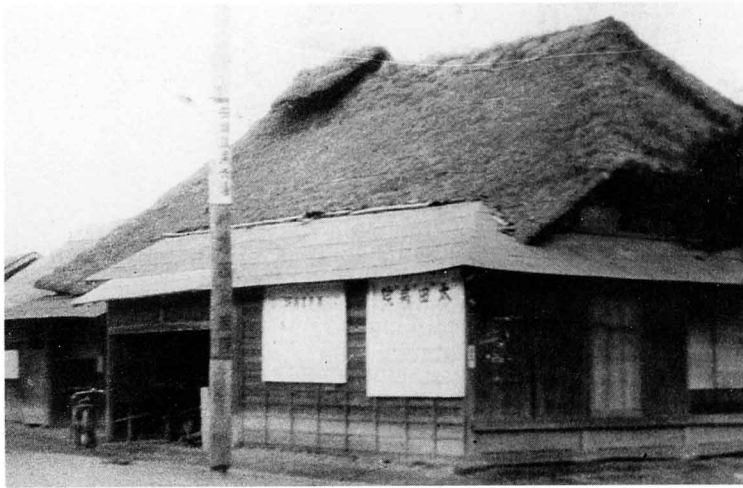
〜心やさしき稔少年〜

城山のとっぺんに、稔が母と二人でこしかけています。殿川^{どのがわ}が浅川の町をうねるように流れ水面は夕日に照らされて、きらきらと光っています。

「稔、なしてけんかなんてしたんだ。」
母が聞いても、稔はただ、だまってうつむいているだけでした。

今日の帰り道、稔は上級生とけんかをしてしまったのです。

稔と友だちの大作が、歩いていると、
「大作、おめえ、おれ家^げの畑からすいかをとったっぺ。おめ、どろぼうだっぺ。」



稔翁の生家